

荒川ハンノキプロジェクト & 荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の蝶「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクトです。荒川の草花を育てようプロジェクトは、外来植物*が増えるのをおさえるために、三ツ又沼ビオトープ周辺にもともと生えていた野草を増やす取り組みです。サポーター事務局では、この取り組みに参加する企業・団体・学校を募集しています。

*外来植物：人によって地域の外から持ち込まれた植物

17年間の活動への感謝のセレモニー

川島町立出丸小学校

三ツ又沼ビオトープ完成以来17年間、荒川ハンノキプロジェクトを通じてビオトープの保安全管理活動に関わった川島町立出丸小学校が、今年4月に川島町立三保谷小学校と統合され、川島町立つばさ南小学校に生まれ変わります。

2月7日(水)、出丸小学校のこれまでの活動に感謝するとともに、17年間の軌跡と成果を振り返る式典「荒川ハンノキプロジェクトの17年間の軌跡と成果報告会」を開催しました。当日は、教育委員会や出丸小学校に縁の深い川島町住民の方々も同席されました。式典では、まず、荒川上流河川事務所から出丸小学校へ、記念品として、前々号までのハンノキ通信(52回発行)を一冊に綴じた冊子「荒川ハンノキプロジェクトの軌跡」が贈呈されました。

その後、あらかわ市民環境サポーター事務局よりこれまでの出丸小学校との活動の軌跡と成果を報告しました。出丸小学校が三ツ又沼ビオトープに植え戻しを行ったハンノキは107本であり、プロジェクト全体の約4分の1を占めるという成果をあげています。つばさ南小学校になった後も引き続きプロジェクトに参加し、ふるさとの自然との関わりが続いていく予定です。



これまでのハンノキ植え戻し数





三ツ又から学んだことの発表会

川島町立出丸小学校

2月20日(火)、5年生のみなさんが総合的な学習の時間で三ツ又沼ビオトープについて勉強したことについて発表を行いました。5年生のみなさんは、グループごとに「荒川にいる生きもの」や「ハンノキの育て方」など、それぞれが設定したテーマに沿って発表した後、最後に「これからやるべきこと」として、外来種をへらす、在来種をふやす、地域の活動に参加する、などをひとりひとり発表してくれました。これからも地域の自然を大切にしていってほしいと思います。



自分ができること」と題して、意見交換を行いました。生徒のみなさんからは「外来種を駆除する」「三ツ又沼ビオトープでのイベントに参加する」「教わったことを学校の友達に伝える」などの意見が出ました。



一年の活動を振り返る

上尾市立太平中学校 科学部

2月9日(金)、科学部のみなさんと、三ツ又沼ビオトープに関わった一年間の活動を振り返るワークショップを行いました。

学校でハンノキを育てたことや三ツ又沼ビオトープで保安全管理活動、ハンノキの植え戻しを行ったことを振り返り、それらの活動が三ツ又沼ビオトープにどのように役立っているのかを確認しました。

その後、「三ツ又沼ビオトープの自然を守るために

今年度、三ツ又沼ビオトープの自然を守る活動を実施して下さった皆様

あらかわ市民(サブ)環境サポーターの皆様

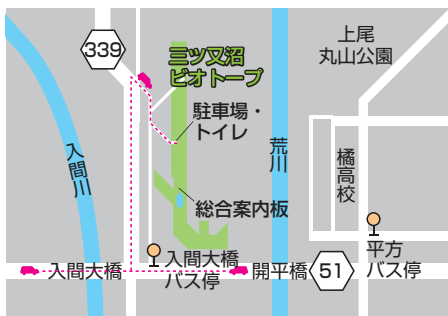
市民団体等：上尾の自然を守る教職員の会、荒川クリーンエイド・フォーラム、荒川の自然を守る会、いきがい愛の会、エンハンスネイチャー荒川・江川、川島ネイチャークラブ、教育ルネッサンス、埼玉県生態系保護協会上尾支部、日本ビオトープ管理士会、ボーイスカウト上尾4・9団

教育機関：上尾市立太平中学校、上尾市立平方北小学校、浦和高等学園、川島町立出丸小学校、川島町立三保谷小学校、埼玉県立いずみ高等学校、埼玉県立総合教育センター江南支所、埼玉動物海洋専門学校、大正大学

行政：あげお子ども記者クラブ(上尾市環境政策課)

企業：ファインモータースクール、株式会社武蔵野銀行

皆様、ありがとうございました!



【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。いつでも、だれでも自然に親しむことができます。

【環境サポーター大募集!】

自然を守る活動や自然学習の指導をする「あらかわ市民環境サポーター」を募集しています(荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録)。

地域の自然を守るためには、地域の方の力が欠かせません。自然が好きな方、荒川が好きな方、体を動かしたい方、いろいろな人と交流したい方、ご連絡をお待ちしています!